

ゆんぬエイサー (与論町)

□ 地域塾の構成

幼児1人, 小学生7人, 中学生8人
高校生15人, その他15人 計46人

□ 代表者

代表 裾分 大喜

□ 設立年

平成4年

□ 活動を始めたきっかけ・背景

昭和63年7月に与論町青年団でサンゴ祭り(与論町祭り)でエイサーを踊ったことがきっかけで、現指導者が興味を持ち、平成4年に「喜納昌吉&チャンプルーズ」の喜納昌吉さん、喜納昌弘さんから沖縄市久保田青年会の踊りを習い、結成となった。結成当初は、青年団だけであったが、現在はエイサーに興味がある人が集まり、46名で活動している。

□ 地域塾の目的(次代に引き継ぐ理念、精神)

平成4年から続き、今や与論島の伝統芸能ともいえるエイサーを練習、披露するだけでなく、小・中学校の運動会、文化祭で披露するエイサーの指導を行っている。また、使用する曲も与論の民謡等を取り入れて島唄を身近なものにし、次世代への継承を行っている。

□ 地域塾の特色

- ・ 沖縄で踊られているエイサー曲だけでなく、与論の民謡もエイサーに取り入れていることで、民謡の保存・継承も行っている。
- ・ 地元の小学校3校、中学校1校、高校1校へのエイサー指導

□ 主な活動

毎週木曜日の定期的な活動と、与論島内外の様々なイベントでエイサー演舞を披露している。また、各小・中学校、高校にてエイサー指導をし、島内全域で伝承活動にも取り組んでいる。

□ 今後の展望

島の子どもたちは、全員、学校でエイサーを踊ったことがあるので、興味をもってゆんぬエイサーに参加してもらい、島を盛り上げていきたい。

与論の民謡を演舞曲に取り入れ、島唄の保存、伝承にも一役買っていきたい。

□ 紹介プロフィール

小学生から、高校生、OBまでの異年齢集団で、毎週木曜日に公民館で練習に取り組んでいる。また、大人からの指導だけでなく、上級生がリードしながら自主的に練習に取り組める集団である。

例年5月の銀座通り感謝祭、7月の七夕祭り、8月のヨロンサンゴ祭り、11月のヨロンマラソンにて演舞をしているほか、新年会や結婚式、敬老会等の祝いごと、ホテル主催の夏イベント等、年間を通して様々なイベントに出演し、各イベントを盛り上げている。

運動会時期には町内の学校でエイサー指導もしており、エイサーや与論民謡の伝承活動も行っている。

【活動の様子】



クルーズ船来島イベント



銀座通り感謝祭



ヨロンサンゴ祭り



ヨロンマラソン